

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

当院におけるパーキンソン病に対して L-ドパ持続経腸療法用チューブを造設した症例の検討に関する研究

1. 研究の対象

2020年1月1日から2023年7月31日までの間に当院でパーキンソン病に対するレボドパカルビドパ経腸療法(LCIG)のためにL-ドパ持続経腸療法用チューブを内視鏡的経胃瘻的腸瘻造設術(PEG-J)にて造設した方。

2. 研究実施期間

実施許可日から2023年12月31日

3. 研究目的・方法

目的 パーキンソン病の改善に、レボドパカルビドパ経腸療法(LCIG)が有効とされています。当院でLCIGのため内視鏡的経胃瘻的腸瘻造設術(PEG-J)にてL-ドパ持続経腸療法用チューブを造設した方に対して、下記の診療情報等を利用し、より効率的な造設の方法の確立や合併症の軽減、有効性の評価を行うことを目的に、研究者が診療情報をもとに造設時の状況や合併症や経過を検討します。

方法 この研究に使用する情報として、診療情報から項目3に記載する情報を抽出し使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・ 情報：年齢、性別、診断名、治療内容、検査結果、画像診断結果、合併症、転帰
- ・ 試料：該当なし

5. 情報の提供先・提供方法

情報を他施設に提供することはありません。

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部附属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：5040）

研究責任者 東海大学医学部内科学系消化器内科学 教授 鈴木 秀和

問い合わせ担当者

東海大学医学部附属病院消化器内科／内科学系消化器内科学 助教 寺邑 英里香